

事務事業名	ゲートボール普及活動事業	所属部門	生涯学習課 スポーツ振興係
町長公約	発祥の地ゲートボールの普及強化	公約達成年次	

◆ 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 広くゲートボールを普及することを目的として、特に青少年や少年団、青年層への普及活動を行い、高校でのGB活動への支援、クラブの設立を支援する。
2. 対象(何を対象にしているか) 町民及び少年団等団員
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 青少年にゲートボールを普及し、次代を担う競技者の育成が図られるとともに、手軽なスポーツとして定着が図られる。
4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつくか) 町民にとって、健康づくりやスポーツ実践が気軽に行え、継続していくことができる環境を整える。

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定
(必ずしも3つの指標を設定する必要はありません)

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)	単位
① ゲートボール教室開催回数	回
② 全町大会参加者数	人
③	

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位
① 町民	人
② 少年団・GBクラブ数	団体
③	

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
① 高校生以下のゲートボール競技人口	人
②	
③	

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	単位
① スポーツしやすい環境であると思う町民の割合	%
②	
③	

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費							
	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						30,000
	一般財源	円	720,933	622,003	826,401	277,209	509,749	1,765,000
	事業費計(A)	円	720,933	622,003	826,401	277,209	509,749	1,795,000
人件費	正職員従事人数	人	2	2	2	2	3	3
	人工数(業務量)	人工	0.2416	0.2229	0.2489	0.2059	0.1872	
	人件費計(B)	円	1,879,543	1,738,164	1,995,792	1,634,315	1,458,244	
	トータルコスト(A+B)	円	2,600,476	2,360,167	2,822,193	1,911,524	1,967,993	
活動指標	① 回		43	43	33	26	21	30
	② 人		207	192	188	0	176	190
	③							
対象指標	① 人		18,660	18,540	18,430	18,268	18,117	18,117
	② 団体		2	2	2	2	2	2
	③							
成果指標	① 人		13	17	22	21	17	20
	②							
	③							
上位成果指標	① %		70.8	66.1	83.6	83.8	83.5	95.0
	②							
	③							

◆ 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 全国的にゲートボールの競技人口が減少傾向にあり、将来的な競技の普及振興を図るためにも、青少年や成年層への普及が必要である。	2. 今後の取組(2022年度及び2023年度以降の方向性・課題の解決方法) ベテランから初心者まで参加可能な全町大会を継続し、若い世代も競技に触れることができる機会を設けるとともに、町内や帯広市内の高校ゲートボール部に対する支援を継続して行う。また、町内小中学校でのゲートボール体験実施を呼び掛け、若い世代の競技者獲得、少年団活動への参加者の増加に繋げる。スポーツとして活動しやすい環境の整備、多様な普及活動を加速させ、各種大会や交流機会の充実に向けた対策を集中的に実施する。各関係機関、団体と認識を共有し、ゲートボールの灯を絶やさず再燃させることを目指す。
--	---

事務事業名	屋外体育施設維持管理事業	所属部門	生涯学習課 スポーツ振興係
町長公約	社会教育施設の長寿命化 温水プールの改築と総合体育館周辺施設の再整備の検討	公約達成年次	2022年

◆ 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 芽室公園野球場、芽室公園運動広場(ソフトボール場1面特設)、芽室町南多目的運動広場、アーチェリー場、芽室南公園運動広場、芽室公園庭球場(6面うち1面は壁打ち用)、芽室南公園庭球場(ハード3面、クレイ3面)、東工業団地北1公園PG場、芽室南PG場、芽室町サッカー場1面、芽室西運動広場の維持管理を行う。
2. 対象(何を対象にしているか) 町民、スポーツ団体等
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 町民及び各種スポーツ団体のメンバー等がスポーツ活動を実践することができる。
4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつか) 町民が体育施設を利用することによって、健康づくりやスポーツ実践が気軽に行え、継続することができる環境を整える。

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定
(必ずしも3つの指標を設定する必要はありません)

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)	単位
① 施設数	施設数
② 会場日数	日
③	

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位
① 延べ利用者数	人
②	
③	

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
① 開場日1日当たりの利用者数(PG場除く)	人
②	
③	

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	単位
① スポーツしやすい環境であると思う町民の割合	%
②	
③	

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円	654,410	34,992,005	551,700	886,465	1,760,720	848,000
	一般財源	円	33,487,898	91,065,374	56,325,866	38,619,944	41,598,221	39,342,000
	事業費計(A)	円	34,142,308	126,057,379	56,877,566	39,506,409	43,358,941	40,190,000
人件費	正職員従事人数	人	2	2	2	2	3	3
	人工数(業務量)	人工	0.2242	0.2291	0.2340	0.2085	0.1955	
	人件費計(B)	円	1,744,178	1,786,511	1,876,317	1,654,952	1,522,899	
	トータルコスト(A+B)	円	35,886,486	127,843,890	58,753,883	41,161,361	44,881,840	
活動指標	① 施設数		11	11	11	11	11	11
	② 日		197	195	198	183	123	123
	③							
対象指標	① 人		30,189	35,568	27,684	20,267	17,012	17,012
	②							
	③							
成果指標	① 人		153.2	182.4	139.8	110.7	138.3	138.3
	②							
	③							
上位成果指標	① %		70.8	66.1	83.6	83.8	83.5	95.0
	②							
	③							

◆ 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 町民の運動志向の高まりとともに、取り組むスポーツも多様化し、より快適で安全な体育施設の設置、維持管理、整備が望まれている。平成30年度には芽室公園野球場の大規模改修工事と平成28年度の台風被害を受けた美生川河川敷PG場の災害復旧工事を行うなど、施設整備事業を実施している。	2. 今後の取組(2022年度及び2023年度以降の方向性・課題の解決方法) 芽室町営水泳プール建替基本計画と運動し、周辺施設を含む屋外体育施設全体の整備に向けて、施設の現状把握と分析、競技団体との意見交換、財源確保に向けた調査、跡地利用の検討(駐車場、庭球場、運動広場の整備)、芽室公園・南運動公園庭球場の整備の方向性を検討する。
---	---

事務事業名	総合体育館維持管理事業	所属部門	生涯学習課 スポーツ振興係
町長公約	温水プールの改築と総合体育館周辺施設の再整備の検討	公約達成年次	2022年

◆ 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 総合体育館(第1・2競技場、トレーニング室、研修室等)の維持管理
2. 対象(何を対象にしているか) 町民、スポーツ競技団体等
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 競技スポーツだけではなく、体力向上や健康増進のためのスポーツ実践の場を提供し、町民皆スポーツに繋げる。
4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつくか) 町民にとって健康づくりやスポーツ実践が気軽に行え、継続することができる環境を整備する。

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定
(必ずしも3つの指標を設定する必要はありません)

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)	単位
① 施設数	施設
② 開館日数	日
③	

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位
① 延べ利用者数	人
②	
③	

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
① 1日当たりの利用者数	人
②	
③	

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	単位
① スポーツしやすい環境であると思う町民の割合	%
②	
③	

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	国・道支出金	円						1,400,000
	地方債	円						6,400,000
	その他(使用料等)	円	5,677,565	5,267,294	5,351,031	3,999,878	3,936,331	7,192,000
	一般財源	円	57,066,334	47,883,525	48,151,236	55,294,213	55,897,400	54,127,000
	事業費計(A)	円	62,743,899	53,150,819	53,502,267	59,294,091	59,833,731	69,119,000
人件費	正職員従事人数	人	2	2	2	2	3	3
	人工数(業務量)	人工	0.1725	0.1740	0.1629	0.1574	0.0971	
	人件費計(B)	円	1,341,975	1,356,844	1,306,205	1,249,350	756,386	
	トータルコスト(A+B)	円	64,085,874	54,507,663	54,808,472	60,543,441	60,590,117	
活動指標	① 施設		1	1	1	1	1	1
	② 日		348	349	350	351	283	283
	③							
対象指標	① 人		91,049	89,323	85,126	64,143	56,480	56,480
	②							
	③							
成果指標	① 人		261.6	255.9	243.2	182.7	199.5	199.5
	②							
	③							
上位成果指標	① %		70.8	66.1	83.6	83.8	83.5	95.0
	②							
	③							

◆ 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 経年劣化の改善や耐震性向上のため平成24年度に改修工事を実施し、以降、計画的に施設備品や施設の整備を実施。施設災害発生時の町の避難施設に指定されていることから平成26年度にバイオマス発電設備を設置し、災害時の利用に備え、日常的に運転を継続している。	2. 今後の取組(2022年度及び2023年度以降の方向性・課題の解決方法) 社会体育施設指定管理者と情報共有を図り、今後も計画的な施設整備、備品整備を行っていく。また、隣接する茅草町営水泳プール建替に係る基本計画を策定する中で、町営水泳プールと総合体育館の連絡方法や利用者の動線、既存のプール施設跡地利用を検討する中で、周辺の屋外体育施設の整備と連動し、総合体育館周辺の将来的な土地利用の方向性を検討する。
---	---

2022年度（2021年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画
施策番号 2-2-2

事務事業名	ゲートボール協会運営支援事業	所属部門	生涯学習課 スポーツ振興係
町長公約	発祥の地ゲートボールの普及振興	公約達成年次	2022年
簡易シートを選択した理由	<input checked="" type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金だけの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業		

〔事業の概要・現状・課題〕
 町内のゲートボール競技者等により組織され、競技だけでなくゲートボールの普及振興を進めているゲートボール協会の活動を支援するために、事務局業務の一部を担う。

〔2022年度及び2023年度以降の方向性・課題の解決方法〕
 ゲートボール発祥の地である芽室町での活動を支えるため、競技団体としてだけでなく、競技の普及、啓発活動を担うゲートボール協会の活動を支援する。町や各関係団体が行うゲートボールの普及活動にも協会の協力を得るなど、地域全体でゲートボールの普及啓発を進める。一方で、協会員の高齢化などにより会員数の減少が進行しており、将来的な競技人口の変動を見据え、若年層への競技普及を図る必要がある。

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
事業費	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	0	0	0	0	0	0
	事業費計(A)	円	0	0	0	0	0	0
人件費	正職員従事人数	人	2	2	2	2	3	3
	人工数(業務量)	人工	0.0289	0.0312	0.0294	0.0288	0.0491	
	人件費計(B)	円	224,829	243,296	235,742	228,598	382,478	
	トータルコスト(A+B)	円	224,829	243,296	235,742	228,598	382,478	

事務事業名	スポーツ少年団活動支援事業	所属部門	生涯学習課 スポーツ振興係
町長公約			公約達成年次

◆ 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 単位スポーツ少年団で構成される少年団本部に対し、補助金の支出と少年団本部の事務を担う。
2. 対象(何を対象にしているか) 団員及びスポーツ活動団体
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 少年団に加入し、スポーツ活動を行う。
4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつくか) 少年のスポーツ活動が活発となり、保護者のスポーツ活動に対する姿勢も積極的になる。

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定
(必ずしも3つの指標を設定する必要はありません)

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)	単位
① 町民	人
② 活動団体	団体
③	

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位
① 少年団団員数	人
② 加盟団体数	団体
③	

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
① 団員数/町民	%
②	
③	

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	単位
① スポーツしやすい環境であると思う町民の割合	%
②	
③	

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費							
	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円			50,000	150,000		
	一般財源	円	1,807,000	2,319,864	2,167,295	2,160,000	2,309,000	2,450,000
	事業費計(A)	円	1,807,000	2,319,864	2,217,295	2,310,000	2,309,000	2,450,000
人件費	正職員従事人数	人	2	2	2	2	3	3
	人工数(業務量)	人工	0.1518	0.1511	0.1537	0.1558	0.1547	
	人件費計(B)	円	1,180,938	1,178,271	1,232,436	1,236,650	1,205,077	
	トータルコスト(A+B)	円	2,987,938	3,498,135	3,449,731	3,546,650	3,514,077	
活動指標	① 人		18,660	18,540	18,430	18,268	18,117	18,117
	② 団体		19	19	19	19	18	18
	③							
対象指標	① 人		664	651	653	594	592	592
	② 団体		19	19	19	19	18	18
	③							
成果指標	① %		4	3	3	3	3	3
	②							
	③							
上位成果指標	① %		70.8	66.1	83.6	83.8	83.5	95.0
	②							
	③							

◆ 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 少年スポーツの普及と発展のために組織された少年団本部の事務的な支援を行い、本部活動の推進を図る必要がある。 また、指導者の担い手不足が深刻化している。	2. 今後の取組 (2022年度及び2023年度以降の方向性・課題の解決方法) 各単位少年団からの聴き取り調査に基づき、活動上の課題を整理し、町としての支援の在り方を考える。また、認定指導者制度が変更となり、指導者資格を取得するために経費が必要となり、更新制度も設けられたことから、それらに対する支援策の検討と並行し、新たな指導者の発掘に向けた方策を検討する。
---	---

2022年度（2021年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画
施策番号 2-2-2

事務事業名	スポーツ賞等授賞式典開催事業	所属部門	生涯学習課 スポーツ振興係
町長公約			公約達成年次
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金だけの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業		

〔事業の概要・現状・課題〕
 体育活動において優秀な成績・功績をおさめた町民の個人及び団体に対し年1回春に授賞式典を開催。なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、2019年度～2021年度については授賞式典を中止している。

〔2022年度及び2023年度以降の方向性・課題の解決方法〕
 スポーツ賞等の表彰基準について、規則の見直しを検討する。

		内訳	単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費	国・道支出金	円						
		地方債	円						
		その他(使用料等)	円						
		一般財源	円	193,654	224,218	308,368	189,282	192,258	291,000
		事業費計(A)	円	193,654	224,218	308,368	189,282	192,258	291,000
	人件費	正職員従事人数	人	2	2	2	2	3	3
		人工数(業務量)	人工	0.1091	0.1096	0.1055	0.0910	0.1058	
人件費計(B)		円	848,751	854,656	845,946	722,305	824,157		
トータルコスト(A+B)		円	1,042,405	1,078,874	1,154,314	911,587	1,016,415		

事務事業名	スポーツ人材強化・育成事業	所属部門	生涯学習課 スポーツ振興係
町長公約	『一流を見て、聴いて、学ぶ』更なる推進 少年団・部活動の指導体制充実	公約達成 年次	

◆ 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 町内で活動する各種スポーツ団体(少年団、各種競技団体)の構成員並びに指導者に対する適正な指導や研修会等への参加機会を設け、スポーツ活動に関わる人材の育成と町民が参加可能なスポーツ活動の充実を図る。
2. 対象(何を対象にしているか) 町民及び各種スポーツ活動団体の構成員
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) スポーツ活動に携わる人材(競技者、指導者)の育成とそれに係る支援を行い、町のスポーツ活動の充実を図る。
4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつか) 町民にとって健康づくりやスポーツ実践が気軽に行え、継続することができる環境を整える。

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定

(必ずしも3つの指標を設定する必要はありません)

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)	単位
① 研修会、各種教室の実施回数	回
② 研修会、各種教室への延べ参加者数	人
③	

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位
① 少年団員数・体育会会員数	人
②	
③	

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
① 指導者登録数	人
②	
③	

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	単位
① スポーツしやすい環境であると思う町民の割合	%
②	
③	

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費							
	国・道支出金	円			1,000,000			
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円		175,026	1,878,788	485,831	402,047	437,000
	一般財源	円	0	3,003,837	4,602,201	4,830,315	2,994,971	6,815,000
	事業費計(A)	円		3,178,863	7,480,989	5,316,146	3,397,018	7,252,000
人件費	正職員従事人数	人		2	2	2	3	3
	人工数(業務量)	人工		0.0425	0.0957	0.1011	0.0855	
	人件費計(B)	円	0	331,413	767,366	802,473	666,025	
	トータルコスト(A+B)	円	0	3,510,276	8,248,355	6,118,619	4,063,043	
活動指標	①	回		2	7	5	10	10
	②	人		145	699	841	903	903
	③							
対象指標	①	人		2,111	2,031	1,958	1,775	1,775
	②							
	③							
成果指標	①	人		99	98	54	53	53
	②							
	③							
上位成果指標	①	%		66.1	83.6	83.8	83.5	95.0
	②							
	③							

◆ 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 北海道日本ハムファイターズや北海道十勝スカイアースなど、道内で活動する競技団体との連携関係を結び、それぞれが有する特色を生かしたスポーツや健康、観光などをテーマとする事業を実施する。また、地域おこし協力隊による活動を通し、少年団や中学校部活動における指導者不足等の課題を抽出し、支援に向けた方策の検討、研修会の開催等を行う。	2. 今後の取組(2022年度及び2023年度以降の方向性・課題の解決方法) 町長公約である『一流を見て、聞いて、学ぶ』実現のためのソフト事業を展開する。各種スポーツに親しむ機会、技術や心構えの習得機会、指導者のための研修会などスポーツしやすい環境を継続するため、今後も事業を推進する。
---	--

事務事業名	スポーツ推進委員会運営事業	所属部門	生涯学習課 スポーツ振興係
町長公約			公約達成年次

◆ 事務事業の目的と効果

<p>1. 手段(事業の概要) 住民のスポーツ振興に関して町が行う社会体育、スポーツ振興事業の企画や推進を図るため、スポーツ団体の育成や教育関係機関、その他行政機関、スポーツ団体の事業に対して必要に応じて実技指導及び助言等の協力を行う。</p>
<p>2. 対象(何を対象にしているか) スポーツ推進委員</p>
<p>3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 町民のスポーツ、レクリエーションの普及振興を図るために求められている資質向上のため、研究、協議、連絡を図るとともに実践していく。</p>
<p>4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつくか) 町民にとって健康づくりやスポーツ実践が気軽に行え、継続していくことができる環境を整える。</p>

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定
(必ずしも3つの指標を設定する必要はありません)

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)	単位
① 各種会議等の実施回数	回
② 延べ参加人数	人
③	

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位
① スポーツ推進委員数	人
②	
③	

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
① 延べ参加率(参加人数/実施回数)	%
②	
③	

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	単位
① スポーツしやすい環境であると思う町民の割合	%
②	
③	

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	219,337	166,602	274,078	119,636	150,746	406,000
	事業費計(A)	円	219,337	166,602	274,078	119,636	150,746	406,000
人件費	正職員従事人数	人	2	2	2	2	3	3
	人工数(業務量)	人工	0.0863	0.0872	0.0851	0.0538	0.0535	
	人件費計(B)	円	671,376	679,981	682,370	427,033	416,752	
	トータルコスト(A+B)	円	890,713	846,583	956,448	546,669	567,498	
活動指標	① 回		3	2	3	2	1	3
	② 人		20	12	25	18	7	30
	③							
対象指標	① 人		10	10	10	10	10	10
	②							
	③							
成果指標	① %		66	60	83	90	70	100
	②							
	③							
上位成果指標	① %		70.8	66.1	83.6	83.8	83.5	95.0
	②							
	③							

◆ 事務事業の現状と今後の取組

<p>1. 事務事業の現状と課題 スポーツは広く国民に浸透し、スポーツを行う目的が多様化するとともに、競技技術の向上、スポーツによる国際交流や貢献の活発化など、スポーツを巡る環境の変化に対応することを目的に平成23年度にスポーツ基本法が制定された。法律の制定により国は、自治体の責務やスポーツ団体の努力などを明らかにするとともに、スポーツに関する施策の基本となる事項が定められた。かつての体育指導員についても、法律の中でスポーツ推進委員に代り、町のスポーツに係る体制整備を図ることとなり、町のスポーツに関する施策の審議やスポーツ推進委員によるスポーツ活動への参画が求められる。</p>	<p>2. 今後の取組 (2022年度及び2023年度以降の方向性・課題の解決方法) スポーツ推進委員の活動として、町のスポーツ行政や施策に関する審議以外に、推進委員による町や地域のスポーツ活動への積極的な参画機会を創出する。</p>
--	---

2022年度（2021年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画
施策番号 2-2-2

事務事業名	チャレンジデー実施事業	所属部門	生涯学習課 スポーツ振興係
町長公約			公約達成年次
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金みの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業		

〔事業の概要・現状・課題〕

運動を始めるきっかけづくりとして、5月の最終水曜日の午前0時から午後9時の間に15分以上運動した人の数を集計し、他の自治体とその参加率を競うチャレンジデー事業について、平成22年度から体育会や少年団本部、スポーツ推進委員などからなる実行委員会を組織し、事業を実施する。

チャレンジデーの目的である「運動するきっかけづくり」としての取り組みであることを念頭に、今後も継続して本事業に取り組むための検討が必要である。令和2年度及び3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から本事業に参加していない。

〔2022年度及び2023年度以降の方向性・課題の解決方法〕

チャレンジデーの目的である「運動するきっかけづくり」としての取り組みであることを念頭に、今後も継続して本事業に取り組むための検討が必要である。町民に対して改めて事業の主旨を周知するとともに、継続した運動に取り組むための機運づくりに努めていく。

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
投入量	事業費	国・道支出金	円						
		地方債	円						
		その他(使用料等)	円						
		一般財源	円	173,811	215,829	220,180	0	0	236,000
		事業費計(A)	円	173,811	215,829	220,180	0	0	236,000
	人件費	正職員従事人数	人	2	2	2	2	3	3
		人工数(業務量)	人工	0.1320	0.1219	0.1595	0.0950	0.0820	
人件費計(B)		円	1,026,903	950,570	1,278,943	754,055	638,761		
トータルコスト(A+B)		円	1,200,714	1,166,399	1,499,123	754,055	638,761		

事務事業名	温水プール維持管理事業	所属部門	生涯学習課 スポーツ振興係
町長公約	温水プール建設、周辺施設充実で健康増進		公約達成年次

◆ 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 温水プールの維持管理を行う。
2. 対象(何を対象にしているか) 町民、スポーツ団体
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 競技スポーツだけではなく、体力向上や健康増進のためのスポーツ実践の場を提供し、町民皆スポーツに繋げる。
4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつか) 町民にとって健康づくりやスポーツ実践を気軽に行うことができる環境を整備する。

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定
(必ずしも3つの指標を設定する必要はありません)

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)	単位
① 施設数	施設
② 開館日数	日
③	

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位
① 延べ利用者数	人
②	
③	

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
① 1日当たりの利用者数	人
②	
③	

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	単位
① スポーツしやすい環境であると思う町民の割合	%
②	
③	

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	国・道支出金	円					37,895,000	569,400,000
	地方債	円					34,100,000	512,500,000
	その他(使用料等)	円	3,884,142	3,858,701	3,761,354	2,574,364	2,840,103	161,084,000
	一般財源	円	46,246,501	47,087,662	49,168,467	50,474,212	59,006,942	53,307,000
	事業費計(A)	円	50,130,643	50,946,363	52,929,821	53,048,576	133,842,045	1,296,291,000
人件費	正職員従事人数	人	2	2	2	2	3	3
	人工数(業務量)	人工	0.1210	0.1260	0.1170	0.1063	0.1479	
	人件費計(B)	円	941,327	982,542	938,159	843,748	1,152,106	
トータルコスト(A+B)		円	51,071,970	51,928,905	53,867,980	53,892,324	134,994,151	
活動指標	① 施設		1	1	1	1	1	1
	② 日		281	278	283	285	220	220
	③							
対象指標	① 人		47,933	47,035	44,728	25,235	26,764	26,764
	②							
	③							
成果指標	① 人		170.5	169.1	158.0	88.5	121.6	121.6
	②							
	③							
上位成果指標	① %		70.8	661.0	83.6	83.8	83.5	95.0
	②							
	③							

◆ 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 開館から29年が経過し、施設や設備の老朽化が進んでいることから、平成26年度に施設の改修計画に向けた設計委託業務を実施し、平成27年度に町民からなる検討会議での議論を踏まえ、教育委員会としての施設改修に関する基本方針をまとめた。平成30年度にはこの基本方針を踏まえ、町として施設建替基本構想を策定し、令和4年度に町営水泳プールの建替工事を実施する。	2. 今後の取組 (2022年度及び2023年度以降の方向性・課題の解決方法) 平成30年度に策定した「町営水泳プール建替基本構想」に基づき、施設の整備方針、規模や建設位置、事業費やそれに伴う財源、事業手法等をまとめた基本方針を策定し、基本構想で方向性を示したDBO方式による施設建替を見据えた要求水準書、募集要項等を作成し、プロポーザル審査委員会を設置し、業者選定を行った令和3年度は、建替に係る基本・実施設計委託し、令和4年度に町営水泳プールの建替工事を開始、令和5年度に供用開始し、指定管理者による施設の維持管理を行う。
---	--

2022年度（2021年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画
施策番号 2-2-2

事務事業名	芽室町体育会運営支援事業	所属部門	生涯学習課 スポーツ振興係
町長公約			公約達成年次
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金だけの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業		

〔事業の概要・現状・課題〕

町体育会は町内の各種スポーツ団体が加入しており、団体間の連絡調整や各団体への支援を行っている。また、スポーツに関する調査研究や町民のスポーツ振興、健康増進のための活動を行う。

加盟団体の中には、役職者や指導者の高齢化による後継者不足や、登録者の減少により事業の停滞が感じられる。

〔2022年度及び2023年度以降の方向性・課題の解決方法〕

加盟団体における指導者や後継者不足が進行傾向にあることから、新たなリーダーの発掘・育成に取り組む必要がある。また、町内少年団や中学校部活動に所属する児童生徒を対象とした、クリニックを北海道日本ハムファイターズや北海道十勝スカイアース等の町と協力関係を結ぶ道内で活動するプロスポーツ団体に講師を依頼し、町のスポーツの活性化に向けた取り組みを行う。

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
事業費	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円	700	700	703	701	140	1,000
	一般財源	円	1,922,300	1,922,300	1,914,297	1,914,299	1,753,646	2,101,000
	事業費計(A)	円	1,923,000	1,923,000	1,915,000	1,915,000	1,753,786	2,102,000
人件費	正職員従事人数	人	2	2	2	2	3	3
	人工数(業務量)	人工	0.0809	0.0818	0.0851	0.0733	0.0530	
	人件費計(B)	円	629,367	637,872	682,370	581,892	412,858	
	トータルコスト(A+B)	円	2,552,367	2,560,872	2,597,370	2,496,892	2,166,644	

事務事業名	各種大会出場支援事業	所属部門	生涯学習課 スポーツ振興係
町長公約			公約達成 年次

◆ 事務事業の目的と効果

<p>1. 手段(事業の概要) 優秀な成績を修め、各種全国・全道大会等に参加出場する町民に対し、その経費の一部を助成し、自主的なスポーツ活動を奨励する。また、少年団の大会出場支援として、年1回に限りバスの借上を行う。</p>
<p>2. 対象(何を対象にしているか) 十勝地区大会で上位入賞し、全国、全道大会等への出場権を獲得した町民(団体参加者は出場登録人員とする)。また、バス借上げは単位少年団を対象とする。</p>
<p>3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 練習の成果を計る機会である大会に出場しやすくする。</p>
<p>4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつくか) 多くの町民が上位大会に出場することで、町全体の競技レベルの向上に繋がる。</p>

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定
(必ずしも3つの指標を設定する必要はありません)

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)	単位
① 助成申請のあった大会数	大会
②	
③	

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位
① 全町民	人
②	
③	

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
① 助成対象者	人
②	
③	

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	単位
① スポーツしやすい環境であると思う町民の割合	%
②	
③	

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費							
	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	6,478,537	5,819,972	8,733,520	1,134,359	3,419,163	4,318,000
	事業費計(A)	円	6,478,537	5,819,972	8,733,520	1,134,359	3,419,163	4,318,000
人件費	正職員従事人数	人	2	2	2	2	3	3
	人工数(業務量)	人工	0.1156	0.1176	0.1276	0.1152	0.1199	
	人件費計(B)	円	899,318	917,039	1,023,154	914,391	933,993	
	トータルコスト(A+B)	円	7,377,855	6,737,011	9,756,674	2,048,750	4,353,156	
活動指標	① 大会		37	51	80	20	28	80
	②							
	③							
対象指標	① 人		18,660	18,540	18,430	18,268	18,117	18,117
	②							
	③							
成果指標	① 人		168	147	192	29	93	192
	②							
	③							
上位成果指標	① %		70.8	66.1	83.6	83.8	83.5	95.0
	②							
	③							

◆ 事務事業の現状と今後の取組

<p>1. 事務事業の現状と課題 競技技術の向上により全道、全国など国内大会はもとより、選抜や推薦を受けるなどして、国際大会への出場機会を得る町民も見られるようになった。令和2年度及び3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、助成申請が減少した。</p>	<p>2. 今後の取組(2022年度及び2023年度以降の方向性・課題の解決方法) 高校生の全国大会の補助金の在り方及び補助金対象団体の拡充の検討を行い、近隣市町村の動向を確認をする。</p>
--	--

2022年度（2021年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画
施策番号 2-2-2

事務事業名	学校施設(体育館)開放事業	所属部門	生涯学習課 スポーツ振興係
町長公約			公約達成年次
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金だけの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業		

〔事業の概要・現状・課題〕
 生涯スポーツの推進を図るため、町内の小中学校の屋内体育館を学校教育活動に支障のない範囲で、町民に開放する。学校開放事業は夜間利用を中心に、総合体育館や健康プラザの利用希望者が希望する施設を利用できない際に当事業を利用していることから、現在の利用水準を維持するものとする。令和2年及び3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大がみられた時期に開放を中止した。

〔2022年度及び2023年度以降の方向性・課題の解決方法〕
 学校開放事業について町内スポーツ競技団体や未利用団体、PTA等に周知を行い、学校教育活動に支障を来たさない範囲での利用促進を図る。

		内訳	単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費	国・道支出金	円						
		地方債	円						
		その他(使用料等)	円						
		一般財源	円	252,000	252,000	252,000	252,000	252,000	252,000
		事業費計(A)	円	252,000	252,000	252,000	252,000	252,000	252,000
	人件費	正職員従事人数	人	2	2	2	2	3	3
		人工数(業務量)	人工	0.0080	0.0080	0.0194	0.0060	0.0325	
		人件費計(B)	円	62,237	62,384	155,558	47,625	253,167	
トータルコスト(A+B)		円	314,237	314,384	407,558	299,625	505,167		

事務事業名	健康プラザ維持管理事業	所属部門	生涯学習課 スポーツ振興係
町長公約		公約達成 年次	

◆ 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 健康プラザ(アリーナ、研修室、資料室等)の維持管理を行う
2. 対象(何を対象にしているか) 町民、スポーツ団体等
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 競技スポーツだけでなく、体力向上や健康増進のためのスポーツ実践の場を提供し、町民皆スポーツに繋げる。
4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつか) 町民にとって健康づくりやスポーツ実践が気軽に行え、継続することができる環境を整える。

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定
(必ずしも3つの指標を設定する必要はありません)

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)	単位
① 施設数	施設
② 開館日数	日
③	

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位
① 延べ利用者数	人
②	
③	

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
① 一日当たりの利用者数	人
②	
③	

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	単位
① スポーツしやすい環境であると思う町民の割合	%
②	
③	

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費							
	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円	1,758,784	1,605,435	1,449,433	1,112,248	787,200	1,386,000
	一般財源	円	9,737,391	10,667,655	10,626,843	11,161,299	12,430,008	11,233,000
	事業費計(A)	円	11,496,175	12,273,090	12,076,276	12,273,547	13,217,208	12,619,000
人件費	正職員従事人数	人	2	2	2	2	3	3
	人工数(業務量)	人工	0.1182	0.1213	0.1156	0.1123	0.1323	
	人件費計(B)	円	919,545	945,892	926,933	891,372	1,030,586	
	トータルコスト(A+B)	円	12,415,720	13,218,982	13,003,209	13,164,919	14,247,794	
活動指標	① 施設		1	1	1	1	1	1
	② 日		361	361	361	334	291	291
	③							
対象指標	① 人		38,657	35,536	35,772	25,647	26,213	26,213
	②							
	③							
成果指標	① 人		107	98.4	99.0	76.7	90.0	90.0
	②							
	③							
上位成果指標	① %		70.8	66.1	83.6	83.8	83.5	95.0
	②							
	③							

◆ 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 ゲートボールを中心に通年で様々な競技に利用されている。特に冬期間は、ゲートボールやテニス、フットサルだけではなく、野球など屋外競技の冬期間の練習場としての利用実績を持つ。また、平成28年度に日本スポーツ振興センターの助成制度を活用して整備した、アリーナ人工芝の維持管理や長寿命化に努めるとともに、懸案事項となっている天井部分からの菅漏への有効な対策を検討する必要がある。	2. 今後の取組 (2022年度及び2023年度以降の方向性・課題の解決方法) 平成28年度に日本スポーツ振興センターの助成制度を活用して整備したアリーナ人工芝の長寿命化を図るため、保護用砂の散布を実施するとともに、天井部分からの菅漏への有効な対策を検討し、施設全体の長寿命化に向けた課題の解決を図る。
--	--

2022年度（2021年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画
施策番号 2-2-2

事務事業名	十勝体育団体協議会参画事業	所属部門	生涯学習課 スポーツ振興係
町長公約			公約達成年次
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金だけの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業		

〔事業の概要・現状・課題〕
 十勝管内の町村体育会等で組織される団体で、本町の体育会も構成員となっている。協議会では、スポーツに係る事業を企画実施するとともに、加盟団体が実施する事業に支援及び連絡調整を行う。また、スポーツ振興について各市町村に対し建議を行う。

〔2022年度及び2023年度以降の方向性・課題の解決方法〕
 十勝体育団体協議会事業を通じて、本町のスポーツ振興に資する情報収集や研修会等への参加を継続して行う。協議会主催事業である「十勝管内スポーツ交流会」に、町内体育会加盟団体からの参加を促すために、各団体に対して継続して情報提供を行う。新型コロナウイルス感染症の影響で、令和2年度の事業が実施されてなく、その分の負担金を令和3年度分の負担金にあてることから、令和3年度の負担金は0円である。

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
投入量	事業費	国・道支出金	円						
		地方債	円						
		その他(使用料等)	円						
		一般財源	円	17,700	17,700	17,900	17,900	0	18,000
		事業費計(A)	円	17,700	17,700	17,900	17,900	0	18,000
人件費	正職員従事人数	人	2	2	2	2	3	3	
		人工数(業務量)	人工	0.0150	0.0159	0.0212	0.0172	0.0226	
		人件費計(B)	円	116,693	123,987	169,991	136,524	176,049	
トータルコスト(A+B)		円	134,393	141,687	187,891	154,424	176,049		

2022年度（2021年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画
施策番号 2-2-2

事務事業名	地域体育館維持管理事業	所属部門	生涯学習課 スポーツ振興係
町長公約	公共施設等総合管理計画の推進		公約達成年次 2022年
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金だけの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業		

〔事業の概要・現状・課題〕

閉校となった学校体育館、グラウンド等を地域の体育施設として活用している。管理運営については、地域の団体と公共パートナー協定を締結している。施設の管理は、地域社会教育協会や行政区と公共パートナー協定に基づき委任している。いずれの施設も経年劣化による老朽化が進行しているが、現状では町として大規模な修繕や改修の計画を持っていないことから、今後は町の公共施設等総合管理計画との整合性や地域合意に基づき、今後の施設の取扱いについて協議する必要がある。

〔2022年度及び2023年度以降の方向性・課題の解決方法〕

町の公共施設等総合管理計画や地域合意に基づき、将来的な施設の在り方について協議を行う。

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費	国・道支出金	円					
		地方債	円					
		その他(使用料等)	円	127,368	109,572	132,222	40,800	0
		一般財源	円	790,538	803,712	857,145	1,647,186	670,141
		事業費計(A)	円	917,906	913,284	989,367	1,687,986	670,141
	人件費	正職員従事人数	人	2	2	2	2	3
		人工数(業務量)	人工	0.0413	0.0421	0.0473	0.0414	0.0630
人件費計(B)		円	321,296	328,294	379,273	328,609	490,755	
トータルコスト(A+B)		円	1,239,202	1,241,578	1,368,640	2,016,595	1,160,896	

事務事業名	町営スケートリンク造成維持管理事業	所属部門	生涯学習課 スポーツ振興係
町長公約			公約達成年次

◆ 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 芽室中学校グラウンドに公式規格である400mスケートリンクを造成する。
2. 対象(何を対象にしているか) 町民、町民を中心とするスポーツ団体等
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 不足しがちな冬期間のスポーツの場の提供。
4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつくか) 町民にとって、健康づくりやスポーツ実践が気軽に行え、継続することができる環境を整える。

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定
(必ずしも3つの指標を設定する必要はありません)

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)	単位
① 施設数	施設
② 開場日数	日
③	

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位
① 延べ利用者数	人
②	
③	

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
① 1日当たりの利用者数	人
②	
③	

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	単位
① スポーツしやすい環境であると思う町民の割合	%
②	
③	

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費							
	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	2,786,400	3,717,741	3,888,690	4,011,014	9,258,370	8,991,000
	事業費計(A)	円	2,786,400	3,717,741	3,888,690	4,011,014	9,258,370	8,991,000
人件費	正職員従事人数	人	2	2	2	2	3	3
	人工数(業務量)	人工	0.0823	0.0713	0.0831	0.0736	0.1593	
	人件費計(B)	円	640,258	555,994	666,333	584,194	1,240,910	
	トータルコスト(A+B)	円	3,426,658	4,273,735	4,555,023	4,595,208	10,499,280	
活動指標	① 施設		1	1	1	1	1	1
	② 日		52	43	30	36	25	50
	③							
対象指標	① 人		15,600	15,600	11,200	10,700	9,600	15,000
	②							
	③							
成果指標	① 人		300	362	373	297	384	300
	②							
	③							
上位成果指標	① %		70.8	66.1	83.6	83.8	83.5	95.0
	②							
	③							

◆ 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 スケートリンクの造成は、町スケート協会にこれまで造成維持管理業務を委託していたが、協会員の高齢化や減少から委託業務の受託が難しく、令和3年度から過去に受託経験のある業者での指名競争入札へ変更。散水車の老朽化が著しく、今後の造成方法と合わせた造成車両の検討が必要である。	2. 今後の取組 (2022年度及び2023年度以降の方向性・課題の解決方法) 新たな造成維持管理方法を検討するとともに、造成維持管理方法に合わせた造成車両(散水車、除雪車)の更新や、適正台数についても併せて検討する。
---	--

事務事業名	発祥の地ゲートボール合宿等実施事業	所属部門	生涯学習課 スポーツ振興係
町長公約	発祥の地ゲートボールの普及振興	公約達成年次	2022年

◆ 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 全国ジュニアGB選手権大会出場経験を持つ道外高校GB部を合宿に誘致し、地元高校チームとの交流事業を通じてジュニア世代(高校生)へのGB競技普及と技術向上を図る。
2. 対象(何を対象にしているか) 合宿事業に参加した高校生
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 参加校同士の交流を通じてGB競技の技術向上と普及を図る。
4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつくか) GB発祥の地として、GBが身近な競技であると感じられる環境づくりを行い、競技の普及拡大を図る。

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定
(必ずしも3つの指標を設定する必要はありません)

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)	単位
① 合宿事業参加高校数	校
②	
③	

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位
① 参加者数	人
②	
③	

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
① 町内の高校生以下の競技者数	人
②	
③	

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	単位
① スポーツしやすい環境であると思う町民の割合	%
②	
③	

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費							
	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	1,026,057	1,126,330	326,001	50,110	71,850	0
	事業費計(A)	円	1,026,057	1,126,330	326,001	50,110	71,850	0
人件費	正職員従事人数	人	2	2	2	2	3	3
	人工数(業務量)	人工	0.0423	0.0614	0.0531	0.0473	0.1206	
	人件費計(B)	円	329,076	478,794	425,780	375,440	939,446	
	トータルコスト(A+B)	円	1,355,133	1,605,124	751,781	425,550	1,011,296	
活動指標	①	校	4	4	1	0	1	4
	②							
	③							
対象指標	①	人	38	28	7	0	3	28
	②							
	③							
成果指標	①	人	13	17	22	21	17	20
	②							
	③							
上位成果指標	①	%	70.8	66.1	83.6	83.8	83.5	95.0
	②							
	③							

◆ 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 ゲートボールの競技人口が減少傾向にある中で、高校生以下の年齢層への競技普及を強化し、ゲートボールをより身近に感じられるような土壌づくりを行い、将来的な競技の普及拡大に繋げていく必要がある。	2. 今後の取組 (2022年度及び2023年度以降の方向性・課題の解決方法) 高校選手権大会出場経験を持つジュニア世代(高校生)への競技普及を継続するとともに、地元の小中学生がゲートボールを体験する機会を設け、将来的な競技者の育成と競技の普及拡大を図る。令和4年度からゲートボール普及事業と統合。
---	--

事務事業名	発祥の地杯ゲートボール大会開催支援事業	所属部門	生涯学習課 スポーツ振興係
町長公約	発祥の地ゲートボールの普及振興	公約達成年次	2020年

◆ 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 発祥の地杯全国ゲートボール大会実行委員会に対し、大会開催に係る運営支援を行う。
2. 対象(何を対象にしているか) 参加チーム
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 参加者数の増加及び新規参加チーム数の増加。
4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつか) 観光入込客数の増加

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定
(必ずしも3つの指標を設定する必要はありません)

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)	単位
① 補助金(予算額)	千円
②	
③	

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位
① 参加チーム	チーム
②	
③	

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
① 参加者数	人
② 新規参加チーム数	チーム
③	

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	単位
① 芽室町外からの観光入込客数	人/年
②	
③	

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費	国・道支出金	円					
		地方債	円					
		その他(使用料等)	円	700,000				
		一般財源	円	711,414	1,717,409	1,110,307	0	0
	事業費計(A)	円	1,411,414	1,717,409	1,110,307	0	0	
	人件費	正職員従事人数	人	2	2	3	3	3
		人工数(業務量)	人工	0.1603	0.1721	0.1771	0.1900	0.1853
人件費計(B)		円	1,247,064	1,342,028	1,420,067	1,508,110	1,443,444	
トータルコスト(A+B)		円	2,658,478	3,059,437	2,530,374	1,508,110	1,443,444	
活動指標	①	千円	1,411	1,718	1,656	0	0	1,719
	②							
	③							
対象指標	①	チーム	90	72	70	0	0	40
	②							
	③							
成果指標	①	人	525	420	418	0	0	210
	②	チーム	5	5	5	0	0	5
	③							
上位成果指標	①	人/年	198,800	201,100	171,600	150,900	206,450	209,000
	②							
	③							

◆ 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 町民有志による大会実行委員会を発足し、本町ならではのおもてなしにより大会参加者を歓迎するとともに、誰もが参加可能なオープン大会として全国に「ゲートボール発祥の地＝芽室町」を発信した。昭和62年から開催された発祥の地杯大会は、平成2年度の参加162チーム・参加者1,040人をピークに徐々に参加チームが減少し、全国的にも高齢層の愛好者数が減少傾向にある。また、令和2年度及び3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、大会が開催されていない。	2. 今後の取組 (2022年度及び2023年度以降の方向性・課題の解決方法) 日本ゲートボール連合を中心に、若齢層へのゲートボール普及が推進され、競技としてゲートボールに取り組む10代から30代までの競技人口が増加していることから、若い世代が参加を目指すような競技性を重視した大会運営を構築する。また、新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、新しい生活様式を考慮した運営方法を検討する。
--	--